

## 令和4年度(2022年度)建設常任委員会管外視察の概要

- 1 視察日 令和4年(2022年)10月11日(火)～13日(木)
- 2 視察者 建設常任委員会(6名)  
楠本千秋(委員長)、西村尚武(副委員長)、井手順雄、  
坂田孝志、増永慎一郎、本田雄三

### 3 視察の概要

#### (1)伏木富山港(新湊地区)

伏木富山港は、本州日本海側の中央に位置し、その恵まれた地理的条件により、日本海側の重要な港として栄え、昭和61年に特定重要港湾、平成23年に国際拠点港湾に指定されている。

今回の視察では、国交省北陸地方整備局伏木富山港湾事務所新湊出張所を訪問し、海外との定期航路の状況など3地区からなる伏木富山港の全体概要に加えて、新湊地区の現状と取組について説明を受けた。

3地区のうち伏木地区と富山地区は、北前船の寄港港となるなど古くから栄えていた一方、新湊地区は、戦後、潟の港口部を切断することにより新たに整備された港であるが、現在は伏木地区、富山地区は、国際物流ターミナルや海外との定期航路もある重要な物流拠点となっているとの説明があった。

また、新湊地区について、ふ頭や岸壁の整備の現状、荷役体制(ガントリークレーン2基など)、荷主に貨物の所在を知らせる物流情報サービス、賑わい拠点の整備(海王丸パークなど)、耐震対策、BCP(事業継続計画)などについての説明があった。



#### (2)谷口吉郎・吉生記念金沢建築館

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館は、東宮御所などを設計した著名な建築家である故谷口吉郎氏の実家跡に建てられたまちづくりに特化し都市の成り立ちなどを説明する建築ミュージアムである。

今回の視察では、金沢出身で親子2代にわたる著名な建築家である谷口親子の足跡と企画展、迎賓館赤坂離宮和風別館「游心亭」を再現している常設展について説明を受けた。

谷口吉郎氏は“金沢診断”を行い金沢の古い街並みを残すことに貢献したこと、また、企画展“木で創る”では、先史時代から貫(ぬき)という梁を通す技術があったことや新しい木の建材として中に鉄骨を入れたハイブリッドなものがあるとの説明があった。



### (3) 石川県辰巳ダム管理棟

辰巳ダムは、金沢市内を流れる二級河川犀（さい）川の中流部に石川県が整備した通常は水を貯留しない流水型の治水専用ダム（H24年度完成）である。

今回の視察では、ダム整備に至る経緯、ダムの規模と整備の概要、令和4年8月4日大雨時の状況と辰巳ダムが果たした役割について説明を受けた。

金沢市中心部を流れる犀川は、たびたび洪水に見舞われ被害が、出ていたが市街地を流れるため拡幅工事ができず、辰巳ダムは既設の犀川ダムと内川ダムに加えて3つ目のダムとして整備されたとの説明があった。

また、令和4年8月4日の降雨時には、周辺の総雨量と辰巳ダムへの最大流入量はともに辰巳ダム整備後最大となったものの金沢市街地においては目立った被害はなく、洪水被害防止に多大なる貢献をしたとの説明があった。



### (4) 石川県金沢城・兼六園管理事務所

金沢城公園及び兼六園は石川県を代表する公園施設であり、共に石川県のシンボルとして県が整備及び維持管理を行っている。

今回の視察では、県が金沢城を歴史公園として整備することに至った経緯と整備状況及び整備計画、情報発信の取組などについて説明を受けた。

金沢城址にあった金沢大学が郊外へ移転した平成7年から復元整備が始まったが、石川門、三十間長屋など藩政期からの建物も3棟重要文化財として残っていることや第1期（H7～H16）に菱櫓、五十間長屋の整備と公園としての基盤整備、第2期（H18～H26）に河北門、橋爪門、玉泉院丸跡の整備や庭園の整備、第3期（H27～R2）に外周に面した鼠多門と橋、鶴の丸休憩館の整備を行ったとの説明があった。



### (5) 石川県県央土木総合事務所

石川県では、令和6年に県内区間の全線開業を迎える北陸新幹線の効果を県全域に波及、持続させ、大規模災害時における迅速な避難や救急活動を確保することなどを目的として道づくりを進めている。

今回の視察では、石川の道づくり指針（「ダブルラダー輝きの美知（みち）構想」）と県内各地の主要な幹線道路の整備状況、特に、同事務所に隣接する「金沢外（そと）環状道路」の整備状況について説明を受けた。

石川県では、県土が南北に細長いという地形的なハンディに対応するため、2本のはしご（ラダー）が重なるように多重な道路網をイメージし、県土をくまなく網羅する幹線道路網の整備を図っているとの説明があった。

また、戦災に遭わなかった金沢市街地では藩政期の屈曲した道路が残るなどの道路事情により渋滞が激しかったため、金沢外環状道路は、県の大動脈である国道8号線を境にして山側に26.4km、海側に18.5km、計約45kmにわたって地域高規格道路として整備を行っている状況について説明があった。

